

授業科目(ナンバリング)	茶道文化IVA(AB401)			担当教員	嶋内麻佐子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
4年間の集大成として、茶会の基本的な流れを理解し、茶道におけるもてなしを探る。波佐見茶会の運営を通して、相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、今後の社会生活につなげる。							⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。				授業態度	60%	
多様性理解力	仲間と協力し、波佐見茶会を運営することができる。茶会の基本を理解し、役割について説明ができる。				茶会の取り組み 茶会レポート	20% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>茶会の取り組みを20%とし、波佐見茶会に向けての準備や練習状況、当日の取り組む姿勢を評価する。授業態度については60%とし、点前の稽古や茶会の実施など、授業への積極的な参加から評価する。課題・レポートは10%とし、ポートフォリオ(manaba)を利用して行い、回答例などをフィードバックする。波佐見茶会終了後に提出するレポートを10%とし、レポート様式に別途ルーブリックを記載する。</p>							
授業の概要							
<p>波佐見茶会を成功させることを目標とする。茶会を開催するに当たっては、連携協定を結んでいる波佐見町にある波佐見町歴史文化交流館の施設を活用する。また、教材として茶道文化研究所作成の動画を予習、復習に用いながら、唐物点前や続き点前、逆勝手点前の概要を理解する。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,500円の諸経費が必要である。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年) 指定図書：安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 茶道文化IVは4年間の集大成でもある。茶道は点前のみが茶道ではない。その中から生まれてくる精神性が、茶の理念でもある。茶会では亭主と客とが協力しあってはじめて「一座建立」の世界を保つことができる。その考え方は一般社会においても同様である。茶道を通して「人と人」「人と物」の関係を学び、人間としての在るべき姿を見つけ出してほしい。 							

火3クラス、水2クラス

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・唐物点前見本	唐物点前の見本を確認し、概要を理解する。	講義概要(シラバス)を確認する。 教科書 pp. 44～47、pp. 70～80 を読み、予習・復習する。
2	・唐物点前稽古①	唐物点前の流れについて確認する。	唐物点前の特徴について復習する。
3	・唐物点前稽古②	唐物点前の流れについて確認する。	唐物点前の特徴について復習する。
4	・続き点前見本	続き点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 70～93 を読み、予習・復習する。
5	・逆勝手点前見本	逆勝手点前の見本を確認し、概要を理解する。	亭主と客の位置について確認する。
6	・逆勝手点前①	逆勝手点前の流れについて確認する。	逆勝手点前の特徴について復習する。
7	・茶会の役割決め	茶会に向けて役割決めをする。	各役割(亭主・半東・接待・水屋)について確認する。
8	・班別練習①	4年間のまとめとして、もてなす側ともてなされる側に分かれて、それぞれの役割を学ぶ。	各役割(亭主・半東・接待・水屋)の動きについて予習・復習をする。
9	・班別練習②	4年間のまとめとして、もてなす側ともてなされる側に分かれて、それぞれの役割を学ぶ。	各役割(亭主・半東・接待・水屋)の動きについて予習・復習をする。
10	・班別練習③	4年間のまとめとして、もてなす側ともてなされる側に分かれて、それぞれの役割を学ぶ。	各役割(亭主・半東・接待・水屋)の動きについて予習・復習をする。
11	・班別練習④	4年間のまとめとして、もてなす側ともてなされる側に分かれて、それぞれの役割を学ぶ。	各役割(亭主・半東・接待・水屋)の動きについて予習・復習をする。
12	・茶会の準備①	客迎への準備を学ぶ。	茶会の成功を目指し、練習に参加する。
13	・茶会の準備②	客迎への準備を学ぶ。	茶会の成功を目指し、練習に参加する。
14	・茶会の準備③	客迎への準備を学ぶ。	茶会の成功を目指し、練習に参加する。
15	・波佐見茶会	客を招き、波佐見茶会を実施する。	各役割の動きについて実践する。